



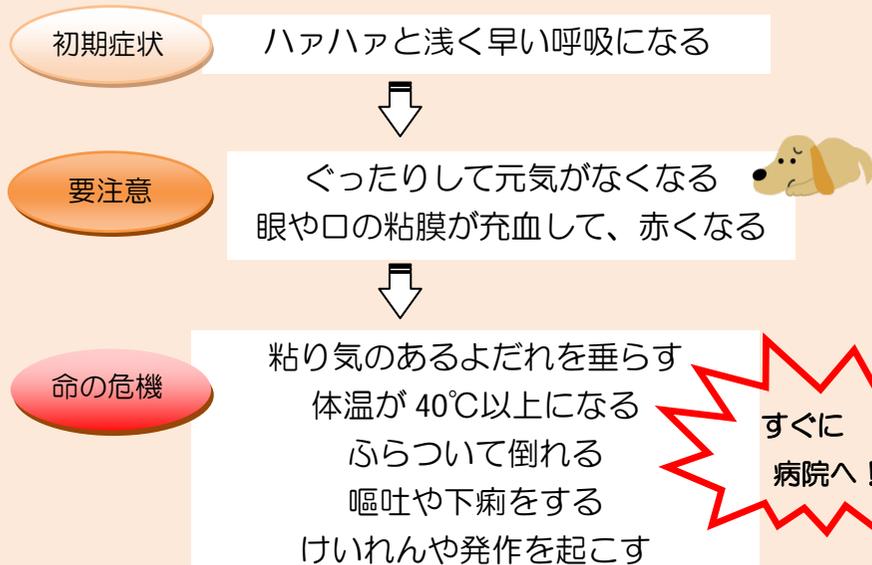
Information_7



熱中症のおはなし

気温と湿度が高くなるにつれて、熱中症が急増します。
熱中症にならないように、環境を整えてあげましょう。

熱中症の症状



リスクを高めるもの



応急処置

一刻も早い対処が救命率を上げます。

涼しい場所へ連れて行く

屋外なら日陰、室内ならクーラーで涼しくする

体温を下げる

全身に水をかける、体を水に漬ける
首やワキ・股の内側に氷枕をあてる

水分を補給させる

意識があり、自力で飲める場合は水を飲ませる

熱中症から守るために

- 🐾 飲み水を切らさない
- 🐾 留守番させる時は、エアコンをつける
- 🐾 日中や夕方など、暑い時間の散歩は避ける
- 🐾 散歩中、霧吹きで水をかけてあげる
- 🐾 運動後はしっかりクールダウンさせる
- 🐾 動物だけを車の中に置いていかない(短時間でも危険!)



スタッフより
特にワンちゃんは暑さに弱く、熱中症になりやすいです。少しの用心が動物さんの命を守ることにつながります。

また、この時期の日中はアスファルトが高温になるので、肉球のやけどにも気をつけてあげてくださいね。